



タテ・ヨコのカギをよんで、謎解きしながらあてはまる文字を入れてみよう！全部のマスに文字が入ったら色付きのマスに文字をならべてみてね！どんな言葉が完成するか分かるかな？
わからない言葉はのげ青ニュースワーカーにきいてみよう！答えはフェイスブックページにてアップします！

タテのカギ

- 1 のげ青で毎週木曜日に行っているプログラムは何でしょうか？
- 2 丸太や角材を組み立ててつくる家は何でしょうか？
- 3 足があってかけることの出来るのに、歩けないものは？
- 4 毎週水曜日に行っているプログラムはホットな○○○○○
- 5 睦月とは何月？
- 6 春に4弁の白い小花を咲かせ、根茎や葉が食用の辛いものは何？

ヨコのカギ

- 1 年に一度、ある言葉を使うとお菓子がもらえる日は？
- 8 荷札や、商品に下げる値札などのことをなんていう？
- 9 ひっそり目立たない場所で行動することは○○○を消す。
- 10 古典文学を嗜む若者が発案したものは文芸サークル○○
- 11 あおいで風を起こす道具
- 12 オオカミに近縁で、形態も似るが小型動物は○○ーテ
- 13 12月24日に一番忙しい人は誰？
- 14 鉄が劣化してくると出来るものは？

1	2	3		
8				4
9		5	12	
	11		6	
10		13		
		14		



こたえ

のげ青の日常を
地域へ伝える



のげ青プログラム紹介 / 体験と学びの プログラム

のげ青には子ども・若者だけでなく地域の方々も気軽に参加できる体験と学びのプログラムを実施しています。ここではその中から『ふらっとカレッジ』と『クリエイターワーク』をご紹介します！



ふらっとカレッジ

ふらっとカレッジは、様々な分野で活躍する大人や、ユニークな活動を継続している人と対談を楽しんだり、講演を聞いたり、一緒に活動を行ったりするプログラムです。過去には、パーマカルチャー※実践コーディネーターの方に「肉を使わない肉料理」の作り方を教えていただくとともに、食と健康の関連性について教えていただきました。また、ケニア共和国の文化について「日本ケニア交友会」のスタッフの方々に講義をしていただいたこともありました。今後は和の文化について学ぶことと、若者が将来の道を考えるきっかけになればという目的で、「大道芸人」と「落語家」の方にお話しをしてもらう会を企画しています。

※パーマカルチャー…永久可能な農業をもとに、人と自然が共に豊かになるような関係を築いていくためのデザイン手法のこと



のげ青のMAP.



小林航さん
ニュースワーカー

Q1 ひとことをお願いします。

4月から野毛青少年交流センターで働くことになった小林航です。運動が好きで、来館した時には是非バドミントンや卓球を一緒にやりましょう！どうぞよろしくお願いします。

Q2 10年後の自分は？

遊びに来ている若者に10年後も思い出してもらえるような職員になっていると嬉しいです！

Q3 のげ青でやってみたい事は？

畑に立てるカカシが欲しいので、みんなで作りたいです。

世田谷区立
野毛青少年交流センター

〒158-0092 東京都世田谷区野毛 2-15-19
☎ 03-3702-4587 / FAX 03-6809-8739
✉ information@nogesei.com @nogesei_youth
🏠 www.nogesei.com (www.facebook.com/nogesei0510)

のげ青の活動はホームページ・フェイスブックページにて公開中です！ぜひご覧ください！

NOGESEI 検索

畑日記

畑プログラムは、畑の拡張、ハーブの剪定と移し替えナス・ゴーヤの収穫やラディッシュの種まき、いちごの苗植えなどを行いました。また9月から玉川ボランティアビュローでハーブの無料配布を開始しました。
初めて配布した時はとても緊張しましたが、少しずつ作業に慣れてきました。自分たちが育てた作物を地域の方々を受け取る姿を直接見るのができて、みんなで喜んでもらえてよかったですね」と話しながら帰っています。
10月には、無料配布の振り返りをみんなで行い、「どうしたらより良くハーブの無料配布が行えるか。作業が楽しくなるのか。」をみんなで考えました。みんなで考えた作業の工夫を11月からやってみようと思っています。

令和2年10月



インターン生からひとこと。

のげ青のみんなはキラキラしています。一人一人、個性があって私の憧れです。のげ青はゲームしたり作業したりと、何かを一生懸命に出来る場所だと思います。また、何もなくても「ホッと」できる居場所でもあると思います。学校でも家でもない不思議な場所で、色々なことを皆さんとやっていたいです。

まるま あいり
丸山 愛理さん

ノッカ x ノッカ NOCCA x NOCCA

参加人数 2人

5つのコマを互いに一つひとつ移動させていき相手の陣地を目指すというゲームです。前後左右斜めに1マスずつ移動できます。移動先に相手のコマがあるときは乗っかることができ、乗られると動かすことができません。自分のコマが相手の陣地の一つでも入れれば終了です。また、自分のコマが相手のコマの上に全て乗っかっても勝ちとなります。



ゲームボードにコマが動ける方向が書いてあるのでわかりやすく、コマの数も5個ずつなので扱いやすく、勝負も短時間で決着がつくので気軽に遊べます。シンプルなルールですが、奥深い戦略性も楽しめるゲームです。

ノッカ x ノッカ NOCCA x NOCCA

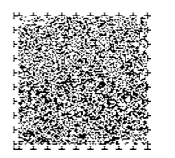
のげパンダからあしらせ



今後の「ふらっとカレッジ」と「クリエイターワーク」は、12月19日(土)に「こまのたけちゃん」による「伝統芸能曲芸師(大道芸人)」という仕事、そして17日(日)に金原亭馬太郎さんによる「落語家という職業について」を行います。どちらも実演をしていただいた後、仕事内容について話していただきます。また2月21日(日)には、ウクレレのワークショップを行うなど、今後の企画にご期待を！

クリエイターワーク

クリエイターワークは、ものづくりや音楽・料理など幅広い創作活動をしているクリエイターと体験を共にしながら学ぶ、ワークショップ形式のプログラムです。過去には、カフェの店長さんからコーヒーの淹れ方やお菓子作りを教えてもらったり、コマまわしの名人にコマの技を伝授してもらったり、照明のプロの方にステンドグラス風のランタン作りを教えてもらったりしました。次回はウクレレグループの主宰者からウクレレの演奏方法を学ぶことになっています。このほかにも、素敵なゲストを迎え、楽しいワークショップを行っていかうと考えています。興味のある方は、ぜひお問い合わせください。





PROGRAM REPORT

クリエイターワーク

ステンドグラス風ランタンをつくろう！

～Lights in Farmにむけて作品作り～

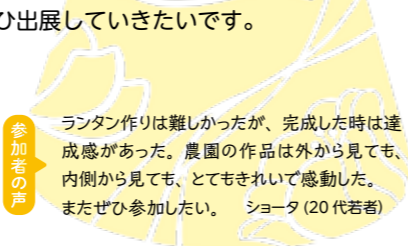
今年度も早稲田大学卯月教授ゼミナール主催の「Lights in Farm」にのげ青として出展することになり、その作品作りの場としてクリエイターワーク第2弾「ステンドグラス風ランタンをつくろう！」を実施しました。ランタン作りを教えてくださいましたのは、(株)Light Workerの秋山潔さんと鬼澤さん。ポリカーボネートやプラダンでできた3種類のランタンから作りたいものを選び、カラーシートで飾りつけをしました。今回はソケット作りも体験しました。小学生から大学生以上の若者が参加してくれ、悩みながらも自分だけのMyランプを作り上げていました。また開催日までの1週間をかけて、のげ青を訪れたみんなで大きなプラダン行灯作品も完成させました。

11月14日、いよいよLights in Farm

に出展です。今回が4回目の参加でした。大きなプラダンの作品を真ん中に配置し、ぶどうのように作品を吊りし、周りに昨年度までに作った作品も展示しました。農園の中はアート作品にあふれ、普段の農園と違った魅力に溢れていました。今回、見に来てくれた子に対して、「のげ青に遊びに来てくれたらプチギフトプレゼント」という仕掛けもしました。Lights in Farmを通して、のげ青を知ってもらえたら嬉しく思います。来年もぜひ出展していきたいです。

参加者の声

ランタン作りは難しかったが、完成した時は達成感があった。農園の作品は外から見ても、内側から見ても、とてもきれいで感動した。またぜひ参加したい。 ショータ(20代若者)



YOUTH REPORT

10.31 sat

今年は魔法使いのパーティー！ ～のげ青ハロウィン2020～

今年の、のげ青ハロウィンは魔法使い！2つの企画を実施しました。1つ目は「トリックオアトリート」。受付で「トリックオアトリート！」という職員からお菓子がもらえるというもの。始まる前から仮装して待っている若者達が出て盛況でした。2つ目の「魔法使いのハロウィンパーティー」は謎解き館内ラリーです。館内ラリーをクリアするとパーティーに参加できます。パーティーでは、杖を持って呪文を唱えるボードゲームをして遊びました。当日は小学生から30代までの若者がたくさん参加していました。特に高校生が多く参加し、楽しそうに仮装しながら謎を解いていました。



10.01 thu

お月見会

今年は10月1日が中秋の名月でした。「明日は満月なんだって」と話をしていたら、お供え物の団子とスキを飾り、風雅な雰囲気を楽しむことになりました。のげ青の庭にスキがあり、背の高い若者が腰をかがめて沢山とってきてくれました。月の出は17:28でしたが、月が昇らないと見えません。ちょうど和室の窓から月が見え、段々高くなっていく様子を皆でならんで鑑賞しました。



10.10 sat

デッサン会

芸術の秋ということで、絵を描く事が得意な若者たちを中心にお絵かきの宴を行いました！一人がモデルとなり、その周りを囲み人物デッサンを行いました。それぞれ思い思いの表現で個性あふれる作品が沢山とできました！絵に興味のなかった小学生たちもデッサンに興味を持ってくれて良かったです。



10.03 sat

ゲーム大会

小学生と中学生の提案でゲーム大会を実施しました。トーナメント戦でキャラクターを使って戦うゲームです。当日は小学生から20代若者まで多くの若者が参加し、提案した中学生が率先してチーム分けを行い、くじ引きを配ってくれました。参加者からは「もっとうまくになりたい！」「次は勝ちたい！」と感想がありました。優勝したチームには賞品としてカードケースの授与と表彰状の掲示がされました。



10.11 sun

バドミントン大会

中高生から20代まで幅広い世代の人が集まり、バドミントン大会を実施しました。トーナメント方式で行い、企画を出した若者が中心となり、くじやトーナメント表づくりを行いました。大会には、職員も参加しみんなで楽しく過ごしていました。終わった後に「またやりたい」という声が上がっていたので、今後も定期的実施をしていきたいです。

のげ青の日常

筋トレの末路



NOGESEI TOPIC

タンザニア紹介企画

～あなたにとって発展途上国とはなんですか？
タンザニア留学で感じたこと～

今年度ののげ青ではタンザニア連合共和国に渡航経験のある鴨野さんがインターンとして活躍してくれていました。その経験をぜひ活かしてプログラムをやらしてもらえないかとお願いし、タンザニアでよくおやつとして食べられている「チップスマイ」のクッキング動画と、タンザニア留学で感じたことを発表してもらった「あなたにとって発展途上国とはなんですか？」の二つを行ないました。

クッキング動画は「のげ青三昧」※で取り組んだ活動の一つです。鴨野さんに教わって、職員と一緒に調理をする様子を、おもしろおかしく撮影して編集し、配信しました。まだ観ていない人は、ぜひご覧くださいね。

メインは10月14日(水)、ミルクで煮出したタンザニア紅茶を飲みながら、

鴨野さんがまとめてくれた活動の動画を観ながら、お話を聞きました。自分にはいろいろできるという強い思いを持って渡航されたようですが、現実を目の当たりにし、自分にできることとは何なのだろうと何度も考えたそうです。児童婚などの現実、マサイ族の生活などどれも貴重なお話ばかりで、職員も含めて19名の参加者はじっと聞き入っていました。

皆さんもこの機に発展途上国とは何なのか、ちょっと考えてみませんか？

参加者の声

マサイ族の伝統的な踊りやジャンプを見せてもらうのにお金がかかることに驚きました。現地に行っていくらかかるのか調べたいと思いました。 シュウメイ(高校生)

※のげ青三昧…9月に野毛青少年交流センターの活動を様々な形で味わっていただくために行ったイベント



ピックアップ! Nogestagram



本館フリースペースのテーブルのひとつがホワイトボードになりました！高校生が得意の絵を描いたり、小学生が好きな漫画やアニメのキャラを描いていました。中にはオリジナルキャラを描いている若者も！みんなも描きに来てね！